

# 学術情報基盤の整備状況

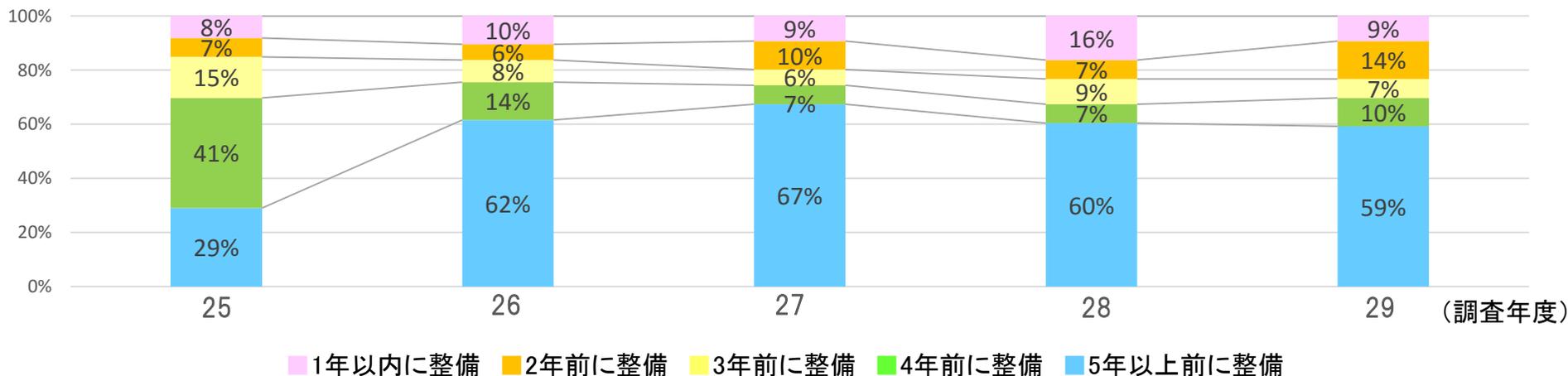
# 国立大学における学内LAN整備状況

学術情報基盤実態調査より(各年度5月1日現在)

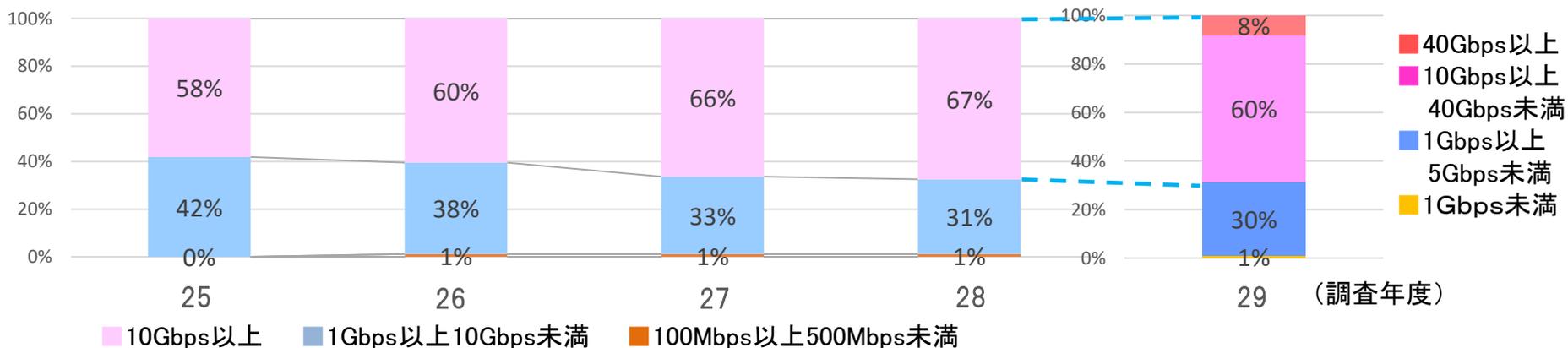
平成29年5月1日現在の国立大学における学内LANの整備状況は、5年以上更新が行われていない大学が59%となっており、半数を超える大学において、学内LANの更新が行われていない状況。また、学内LANの老朽化・陳腐化を課題に挙げている大学は53.5%を占める。

学内LANの通信速度は、10Gbps以上の割合が年々微増しているが、31.4%の大学は、学内LANにおけるボトルネックの解消を課題に挙げている。

## 整備状況



## 通信速度



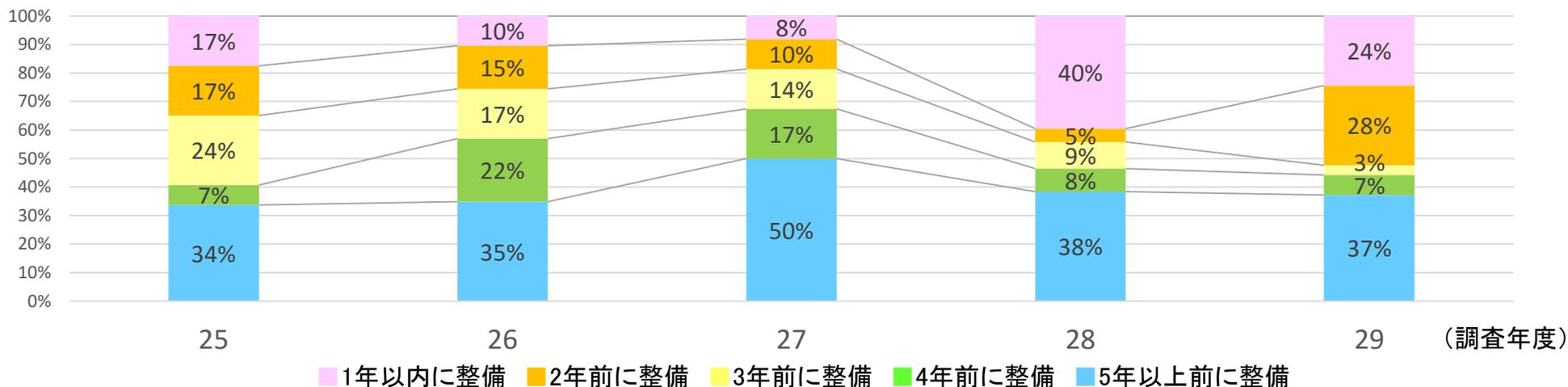
# 国立大学における対外接続回線整備状況

学術情報基盤実態調査より(各年度5月1日現在)

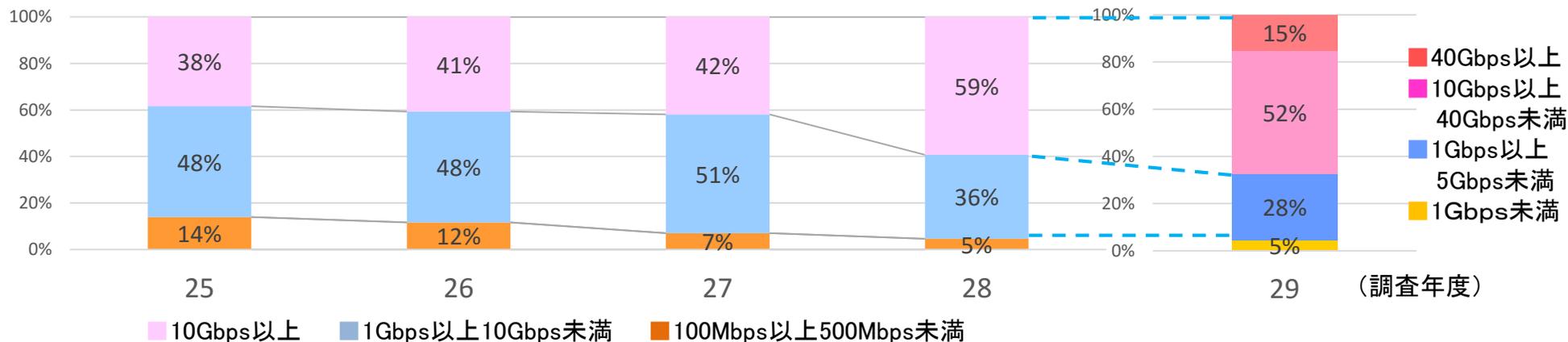
平成29年5月1日現在の国立大学における対外接続回線の整備状況は、4年以内に更新を行った大学は、62%となっており、半数を超える大学で更新が行われている状況。

対外接続回線の通信速度は、10Gbps以上の割合が年々増加している傾向にあり、外部との通信が活発に行われている。

## 整備状況



## 通信速度



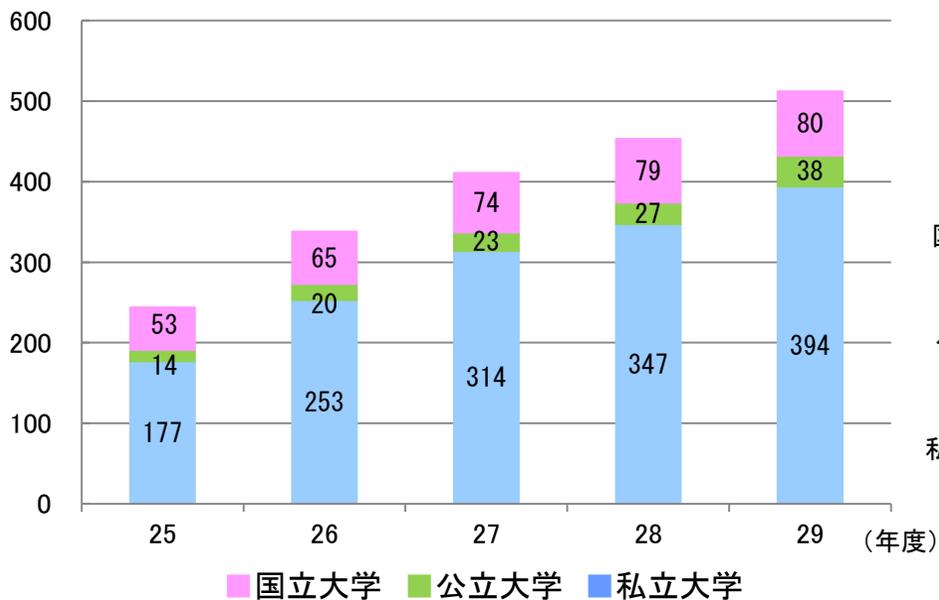
# アクティブ・ラーニング・スペースの整備状況

平成29年度学術情報基盤実態調査より

アクティブ・ラーニング・スペース(複数の学生が集まり、様々な情報資源を活用しつつ議論を進めていく学習スタイルを可能にするスペース)は、平成29年5月1日現在で512大学(65.4%)に設置されており、国立大学の93.0%、公立大学の42.7%、私立大学の64.8%に設置されている。そのうち、国立大学89.4%、公立大学69.0%、私立大学74.4%が図書館内に設置している。

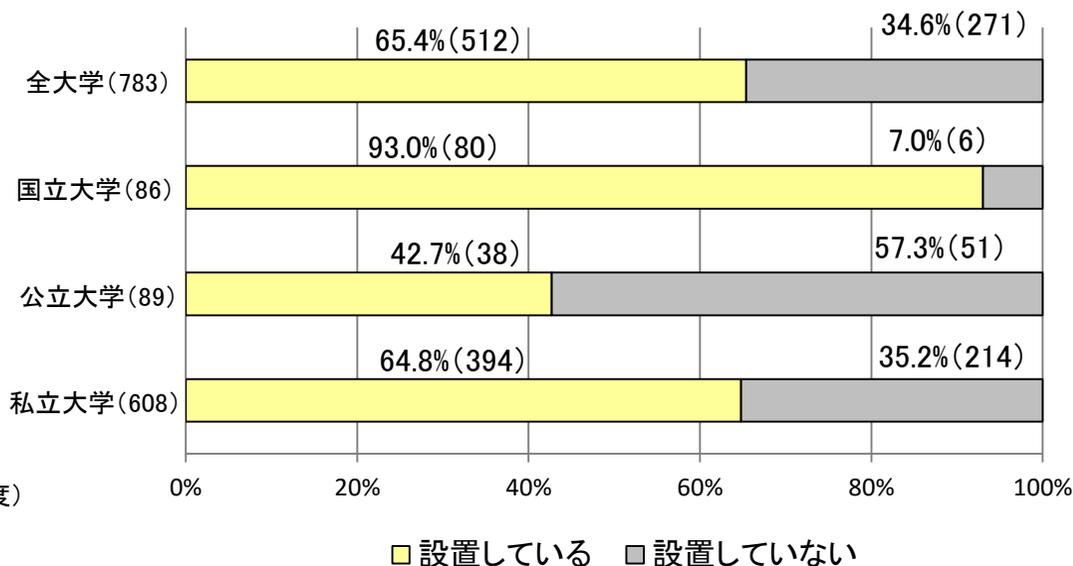
## ➤ アクティブ・ラーニング・スペース設置大学数の推移

(大学数)



## ➤ アクティブ・ラーニング・スペース設置割合

(平成29年5月1日現在)



年度	25	26	27	28	29
設置大学数	244	338	411	453	512
国立大学	53	65	74	79	80
公立大学	14	20	23	27	38
私立大学	177	253	314	347	394
調査対象大学数	774	779	779	779	783
設置率	31.5%	43.4%	52.8%	58.2%	65.4%

# SINET (学術情報ネットワーク)

- ◆ 日本全国の国公私立大学等を結ぶ超高速・セキュアなネットワーク。国立情報学研究所(NII)が構築・運用。(SINETは平成4年から継続して整備。第5世代となるSINET5は平成28年4月から運用開始。)
- ◆ 100Gbpsで全国の大学等を網目状に接続。海外の学術ネットワーク(米国、欧州、アジア)とも100Gbpsで相互接続(平成30年度中)。
- ◆ 民間事業者から未使用回線(ダークファイバー)を借り上げることで効率的に整備。
- ◆ 通信回線の運用と合わせて、利用者の立場に立ったネットワークサービス機能の整備・拡充。
- ◆ モバイル網とSINETを直接接続し、広範囲なエリアから収集したデータの利活用を促進する広域データ収集基盤を運用開始(平成30年度中)。
- ◆ Society5.0を支える重要インフラとして、一層の高度化・高速化に期待。

	国立大学等	公私立大学	短大・高専	国立研究法人	民間	その他	計
加入機関数 (H30.3.31)	102	466	133	26	6	156	889

